

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 7月27日更新

事務事業名	農業者戸別所得補償対策事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	6	産業の健康	所属部	産業振興部	課長名	木永 和博
	施策	26	農業の振興	所属課	農政課	担当者名	谷口 大介
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化	所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 15	事業連番 10258	根拠法令	経営所得安定対策実施要綱 需要に応じた米生産の推進に関する要領
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	行政・JA・農業者等で組織する合志市農業再生協議会の一員として下記に関する事項に取組む。 米畑作物の収入減少影響緩和対策の推進・畑作物の直接支払交付金の推進・水田活用の直接支払交付金の推進・集落営農の法人化支援の実施・対象作物の生産数量目標の設定・農地の利用集積・耕作放棄地の再生利用・担い手の育成及び確保・その他地域農業を振興する為に必要なこと。 H25年度から「経営所得安定対策」として実施、受け皿となる地域農業再生協議会の運営及び対策に必要な農家（農業者）と農地などの情報を総合的に調整して、米・麦・大豆等の需要に応じた生産と水田農業全体の所得向上、農業経営の安定化を図る事業。
【業務の流れ】	需要に応じた米生産の推進に関する要領・生産調整方針認定要領・経営所得安定対策実施要綱・直接支払推進事業費補助金交付要綱・水田、畑作経営所得安定対策実施要領等に従い、各種事務手続等を行う。 ※制度内容の周知活動→申請書等の受付等（農政局への進達）→申請内容の確認（現地確認等）→申請内容確定（農政局へ進達）
【主な予算費目】	職員の時間外手当、需用費（消耗品・費修繕費・燃料費等）、役員費、補助金
【意見や要望】	農業者等から制度が煩雑などの意見が多数有。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	② 2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
① 本制度の普及推進活動② 30年度以降の対象作物の作付目安の設定ルール等の策定③ 申請書類等の配布、回収、整理の取りまとめ、受付④ 対象作物の作付面積等の確認事務⑤ 農業者情報のシステム入力・集計事務⑥ 産地交付金の要件設定・確認事務⑦ 耕作放棄地の再生利用に必要な活動⑧ 農業者の水田情報等の収集・整理事務⑨ 集落営農の経理担当者の育成及び法人化等に対する支援活動⑩ 農地利用集積円滑化に必要な活動⑪ その他本制度の円滑な実施に必要な活動を行った。	① 本制度の普及推進活動② 30年度以降の対象作物の作付目安の設定ルール等の策定③ 申請書類等の配布、回収、整理の取りまとめ、受付④ 対象作物の作付面積等の確認事務⑤ 農業者情報のシステム入力・集計事務⑥ 産地交付金の要件設定・確認事務⑦ 耕作放棄地の再生利用に必要な活動⑧ 農業者の水田情報等の収集・整理事務⑨ 集落営農の経理担当者の育成及び法人化等に対する支援活動⑩ 農地利用集積円滑化に必要な活動⑪ その他本制度の円滑な実施に必要な活動	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 経営所得安定対策対象農用地(1期作対象農地)	h a	車検・点検費等及びガソリン単価の変更のため
イ: 経営所得安定対策対象農用地(2期作対象農地)	h a	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
経営所得安定対策対象農用地(1期作・2期作)		→ ア: 経営所得安定対策申請農用地(1期作申請対象農地)
		イ: 経営所得安定対策申請農用地(2期作申請対象農地)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
フル活用されている(農業所得の激減、農業従事者の減少・高齢化、農村の疲弊など、危機的な状況の緩和)		→ ア: 基幹作物(1期作)対象農用地活用率
		イ: 裏作(2期作)対象農用地活用率
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
経営所得安定対策対象農地の活用率を算出することにより、助成金の農業所得の激減、農業従事者の減少・高齢化、農村の疲弊などへの対策貢献度を図る。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度	30年度	31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	h a	862.56	860.27	860.27	851.56	860.27	860.27	860.27	860.27
	イ	h a	862.56	860.27	860.27	851.56	860.27	860.27	860.27	860.27
② 対象指標	ア	h a	801.57	488.95	818.5	490.19	818.5	818.5	818.5	818.5
	イ	h a	445.66	418.18	418.18	431.03	418.18	418.18	418.18	418.18
③ 成果指標	ア	%	90.7	56.8	56.8	57.6	56.8	56.8	56.8	56.8
	イ	%	50.3	48.6	48.6	50.6	48.6	48.6	48.6	48.6
投資	費	国庫支出金	千円	2,777	3,228	3,234	2,698			
		都道府県支出金	千円	196	468	468	468	3,171	3,171	3,171
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,752	374	491	458	483	483	483
入	量	(A) 事業費計	千円	4,725	4,070	4,193	3,624	3,654	3,654	3,654
		(A)のうち指定経費	千円	173	161	184	183	176	176	176
		(A)のうち時間外、特勤	千円	173	161	184	183	176	176	176
		正規職員従事人数	人	4	4	8	3	8	8	8
人	件	延べ業務時間	時間	1,970	1,480	2,100	1,455	2,100	2,100	2,100
		(B) 人件費計	千円	7,793	5,834	8,366	5,766	8,366	8,366	8,366
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,518	9,904	12,559	9,390	12,020	12,020	12,020	12,020

事務事業名	農業者戸別所得補償対策事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 経営所得安定対策の実施に伴い事務等を遂行した。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 R2年度もR1年度同様目標達成見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 農業者の意欲と経営安定化の取組増加により向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 農家の経営所得安定対策及び農業再生協議会の運営に係る事務は継続されるため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務局がJAから市に移行し、これ以上の削減余地はない。また、行政で担う事務が増加している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国の政策により、事業を実施しているため、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国策として実施されている事業なので、行政のかかわりは必要である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

経営所得安定対策の本格実施に伴い、事務量等の増加があったものの、制度にのっとり適正に遂行できたと思われる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						